

＜大腸がん地域連携パス 改訂版の改修方針と変更点について＞

大腸がん地域連携パスについて、以下の点について改訂します。

1) 大腸がんパス（ESD）の改訂

※ 「Mがん」「SMがん」連携計画書を **EMR** 実施者に適用

- ▶ ESD、EMR の使い分けは深達度、浸潤距離、脈管侵襲、簇出の有無で決めるため、適用可能と判断。現行の ESD パスに反映するよう修正を行った。
- ◆ 【3-2-1 大腸がんパス（EMR/ESD）：説明文（医療者用）】を新規作成
- ◆ 【3-2-4 大腸がんパス（EMR/ESD）：連携ノート（患者用）】の修正
 - ▶ 「ESD について」ページに「切除方法」の項目を追加 …3ページ
 - ▶ 「治療方法」ページに EMR についての注釈を追加 …6ページ
- ◆ その他補足：各パスの表題他、ESD の記載箇所に EMR を追記

2) 大腸がんパス（術後経過観察）の改訂

- ◆ 【3-1-1 大腸がんパス説明文（医療者用）】の修正
 - ▶ 「手術情報」に「アプローチ」の項目を追加 …3ページ
 - ▶ 「投薬情報」を修正 …3ページ
 - ・ 薬剤の表記を一般名に変更、容量（mg、g）での表記に統一、補助化学療法に CAPOX、FOLFOX を追加
- ◆ その他補足：大腸がんパス（説明文・計画書・連携ノート）の表題に「手術」を明記
 - ※ 同意書は 手術・EMR/ESD 共通

以上